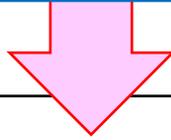


**児童
教師
の実態**

- ・自分の思いや考えを口に出して伝えられない、自己表現力の乏しい児童がいる。
- ・教室の中に様々な特性がある児童が混在している。
- ・教師が、望ましい行動を促すためのアプローチができていない、褒め上手でない。



**研究
主題**

自信をもち、きらりと輝く児童の育成
～自己肯定感・自己有用感を高める指導方法の工夫～

研究の視点

- ①日常におけるポジティブな行動支援(PBS)の取組による児童の変容
- ②ユニバーサルデザイン(UD)の視点での全員参加の授業づくりによる児童の変容
- ③自信をもたせる指導ができる教師の育成と保護者への啓発による児童の変容

UDグループ

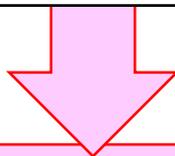
- ①UDの視点に立った授業づくり
- ②導入の工夫による全員参加の授業づくり
- ③よりよい教室環境づくり
- ④デジタル教材等を使用した個別最適な授業づくり
- ⑤自己肯定感・自己有用感向上のための教科横断的な授業づくり
- ⑥学力調査・授業等の分析・考察

PBSグループ

- ①望ましい行動を増やすためにPBSの具体的な方策を提案
- ②ペアレントトレーニング
保護者への啓発活動
- ③業前活動等を利用した非認知能力向上を目指した継続的なトレーニングの計画・実施
- ④PBSについての研修実施
- ⑤教師用指導資料、教材集め

調査・統計グループ

- ①教職員及び保護者の意識調査
- ②非認知能力の分析（県学力調査の自己効力感の項目）
- ③学校のホームページ等を活用した保護者・地域に向けての情報発信



**目指す
児童像
教師像**

自分のよさや他者のよさに気付き
自信をもって気持ちや考えを伝えられる児童

一人一人の児童を認め
全員参加の授業ができる教師